

学校法人 立正大学学園様（教研\_学生）

カラー複合機 ApeosPort-C5570/C3570

簡 易 操 作

説明資料

# 目次 複合機の使用方法

## 操作パネル・認証 二複合機を使う前の操作二

- 操作パネルについて ..... P3
- ICカードでの認証 ..... P5

## プリント

- どこでもプリント ..... P6
- 【便利な機能】両面プリント・まとめて1枚のプリント ..... P9

## スキャン

- スキャン送信 複合機操作 ..... P10  
マイフォルダ保存の操作方法

## USB

- USBスキャン ..... P11
- USBプリント ..... P12
- USBメモリーについて ..... P13

## コピー

- コピーについて ..... P14

## 残高確認

- 残高確認 ..... P15

## マークシステム

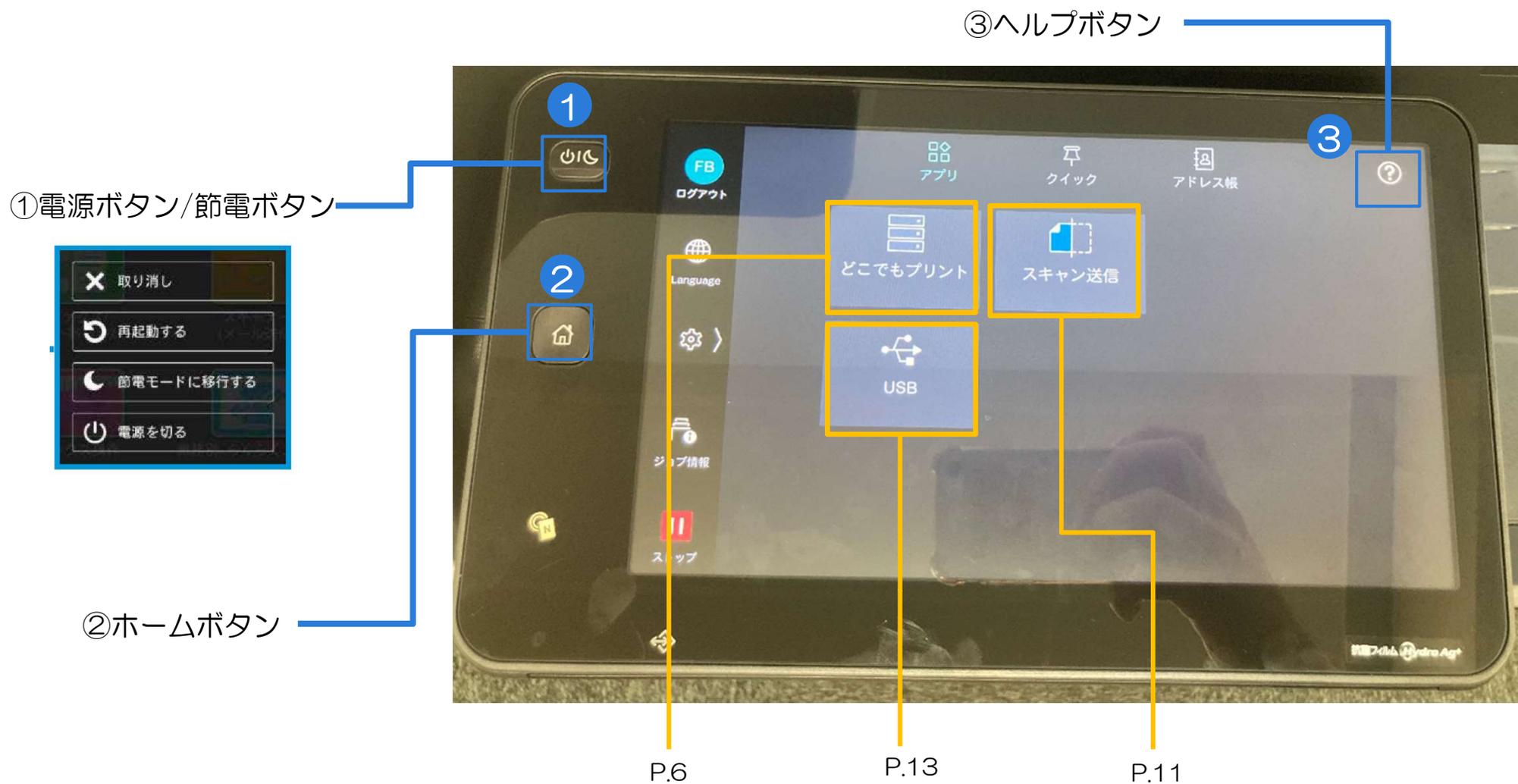
- マークシステム ..... P16

以下Webサイトでヘルプを確認できます。

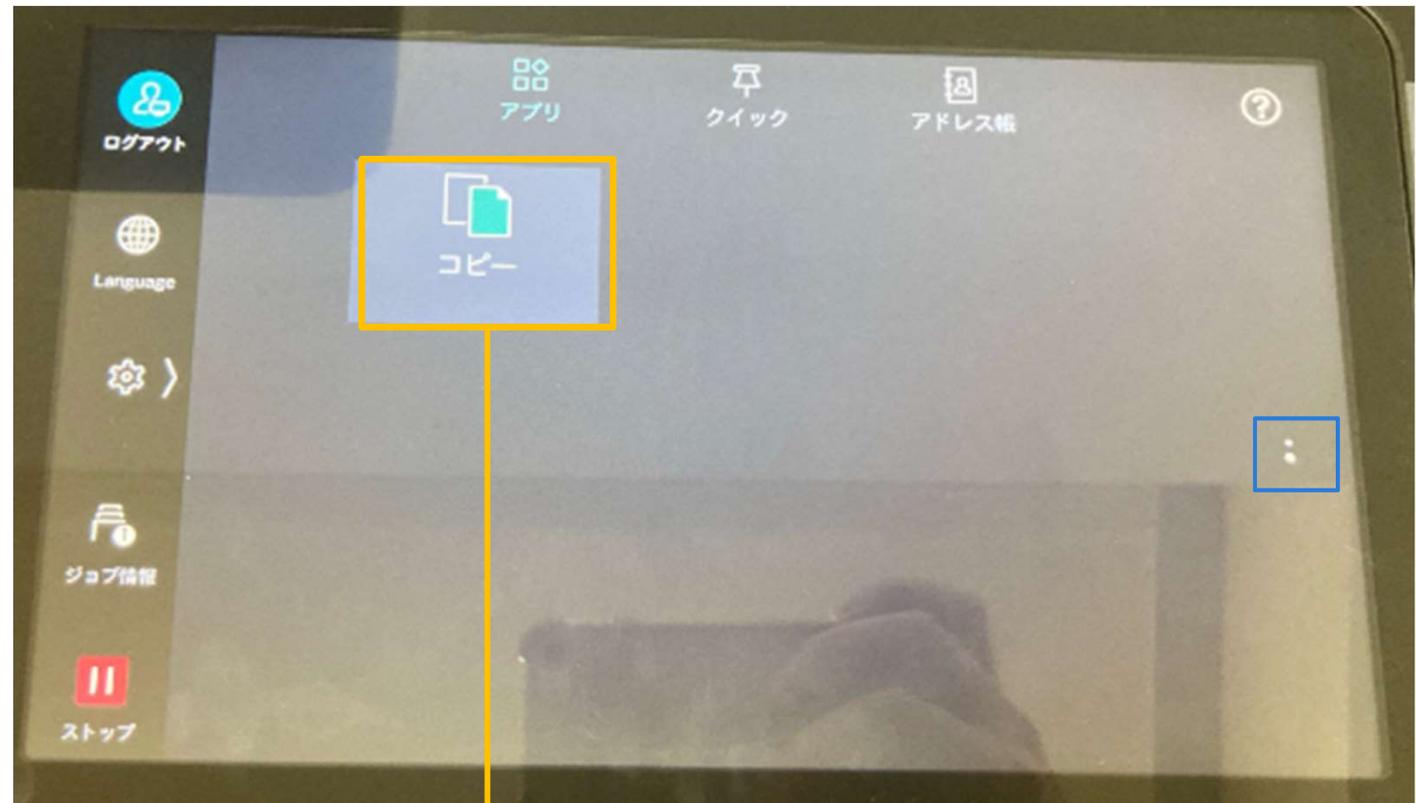
**ApeosPort C5570/C3570**

[https://www.fujifilm.com/fb/support/manual/mf/ap\\_c7070/manu.htm](https://www.fujifilm.com/fb/support/manual/mf/ap_c7070/manu.htm)

# 操作パネルについて



# 操作パネルについて



P.15  
※教職員のみ利用可能  
学生はコピー機能利用不可

画面を下にスクロールすると  
【コピー】が表示される

# ICカードでの認証

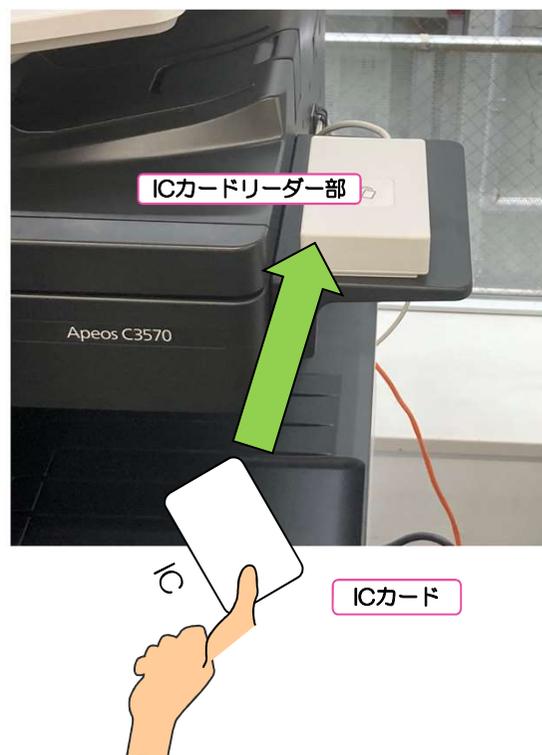
複合機の様々な機能に認証を設けることでセキュリティを確保しています。  
本操作を行うことで各機能（コピー・スキャン・プリント）を利用することができます。

- 1 複合機にログインしていない未認証の状態。



[ホーム画面]

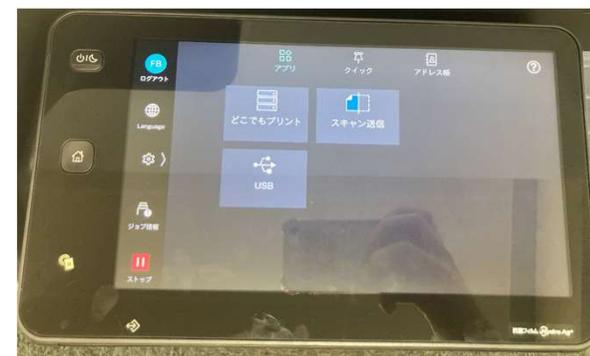
- 2 ICカードを操作パネルの右側のICカードリーダー部(外付け)にかざします。



- 3 認証が完了しすべての操作を行えるようになります。

※認証は60秒後に

確認中



# どこでもプリント

出力先に選んだ複合機が使用中でも、学内であれば、どこでも他の複合機から自分のジョブを選んで出力できます。

※「どこでもプリント」は情報環境基盤センターが設置した複合機のみで利用できるサービスです。

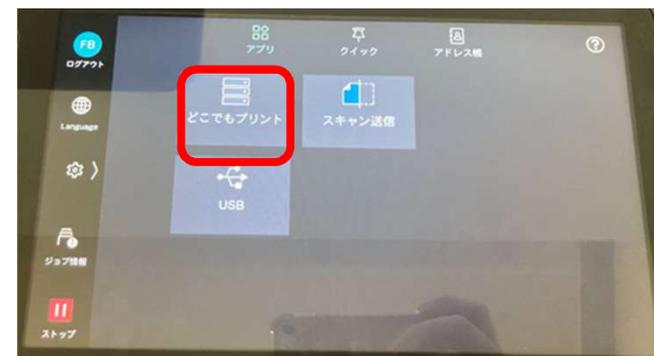
※プリンタは本機能の対象ではありません。

※認証方式が異なる複合機からは出力できません。

1 PCの印刷画面で出力先のプリンタを選択し、印刷指示をします。

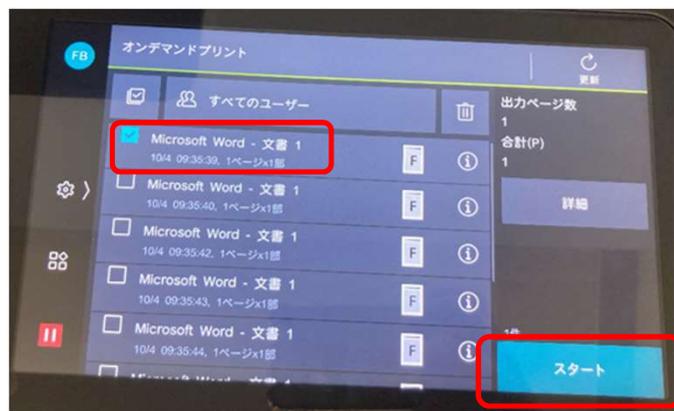


2 [どこでもプリント]をタッチします。



[ホーム画面]

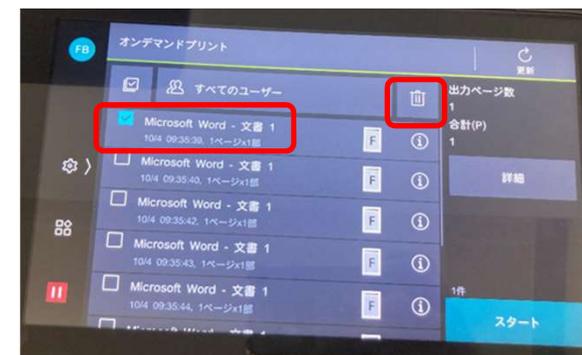
3 ジョブの一覧が表示されますので、出力したいジョブを選択し、[スタート]をタッチします。



※ 蓄積されている文書は、印刷指示をしてから24時間で削除されます。

## 誤った印刷指示をした場合

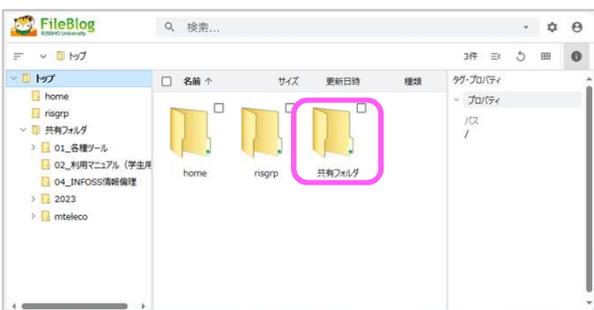
削除したいジョブを選択し、「ゴミ箱」をタッチするとジョブを削除することができます。



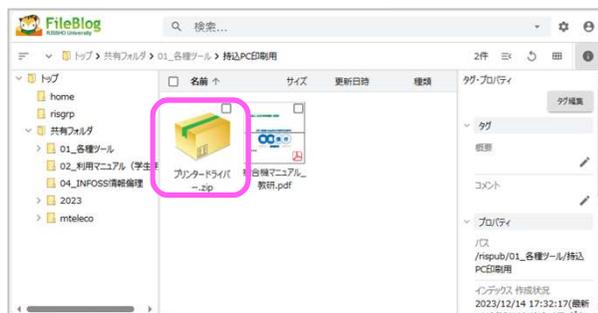
# どこでもプリント

自分のPCでどこでもプリントをできるように設定します。

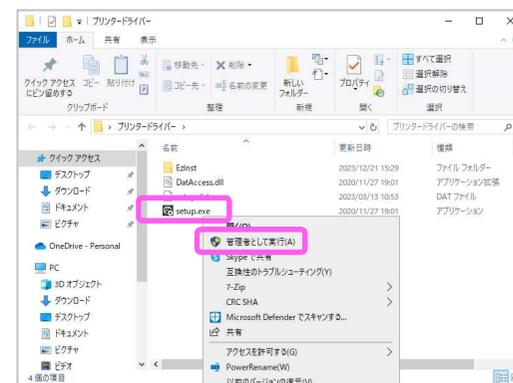
- 1 ポータルサイト等から共有ストレージへ接続します。ログイン後、[共有フォルダ]を選択します。



- 2 [01\_各種ツール]→[持込PC印刷用]と選択し、[プリンタードライバー.zip]ファイルを自身のPCにダウンロードしたら、zipファイルを自身のPC内に解凍します。



- 3 解凍したフォルダ内の[setup.exe]を右クリックし、[管理者として実行]を選択します。



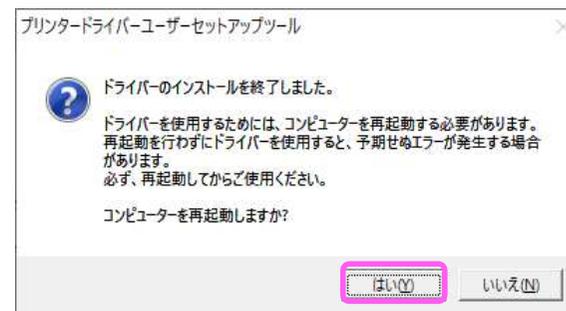
- 4 環境によりユーザーアクセス制御の画面が表示された場合、[はい]を選択します。



- 5 [インストールの開始]を選択します。  
※終了まで時間がかかることがあります。



- 6 インストール終了のメッセージが表示されたら、[はい]を選択してコンピュータを再起動します。



# どこでもプリント

自分のPCでどこでもプリントをできるように設定します。

7 作成されたプリンタアイコン「どこでも」を使用して印刷します。



8 [スタート]→[設定]の順に選択して「Windowsの設定」を開き、[デバイス]をクリックします。



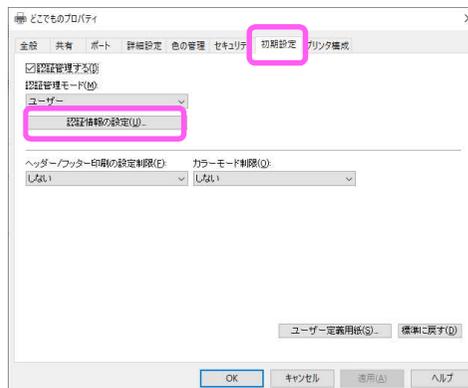
9 「デバイス」の画面より[プリンターとスキャナー]→[どこでも]の順に選択し、[管理]をクリックします。



10 [プリンターのプロパティ]をクリックします。



11 [初期設定]タブを選択し、[認証情報の設定]をクリックします。



12 「常に同じ認証情報を使用する」にチェックを入れ、「UserIDの指定」項目を[IDを入力する]に変更し、「UserID」項目に学籍番号を入力します。[OK]をクリックすると完了です。



# 【便利な機能】 両面プリント・まとめて1枚のプリント

2UP 両面



4UP 両面



両面プリントと、まとめて1枚のプリントを組み合わせることで、1枚の紙の表裏を有効利用することができます。例えば、8枚の原稿を、両面+4UPの設定で印刷すると、使用する紙は1枚ですむなど、大きな紙の削減が見込めるようになります。

両面プリント

両面プリントを行うと、2ページの原稿を、紙の表面・裏面に出力することが出来るため、紙の節減につながります。



1

印刷実行時に、[プロパティ]をクリックし印刷設定を開きます。  
[基本]のタブを選択し、[両面]から[長辺とじ][短辺とじ]を指定して、[OK]をクリックします。



短辺とじ



長辺とじ

まとめて1枚のプリント

まとめて1枚 (N-UP) プリントを行うと、複数ページの原稿を、1枚の紙に並べて出力することが出来るため、紙の節減につながります。



1

印刷実行時に、[プロパティ]をクリックし印刷設定を開きます。  
[基本]のタブを選択し、[まとめて1枚]から[2アップ]等を指定して、[OK]をクリックします。



2UP



4UP

# スキャン送信 複合機操作

マイフォルダ保存の操作方法です。

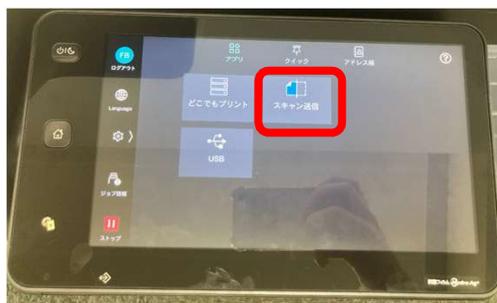
1 原稿をセットします。



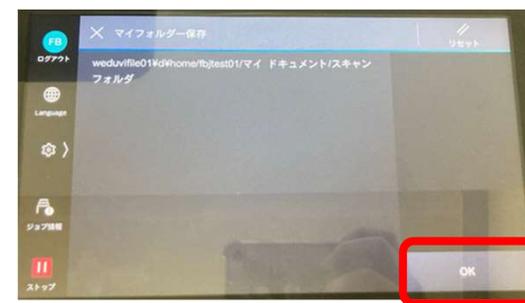
【原稿ガラス】  
スキャンする面を下に、左上によせてセットします。

【自動原稿送り装置】  
スキャンする面を上にしてセットします。

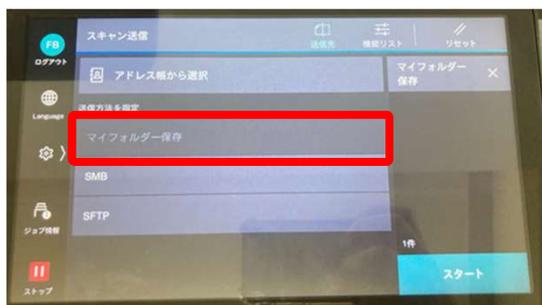
2 操作パネルの【スキャン送信】ボタンをタッチします。



3 右下の【OK】ボタンをタッチします。



4 「マイフォルダ保存」が選択されていることを確認します。



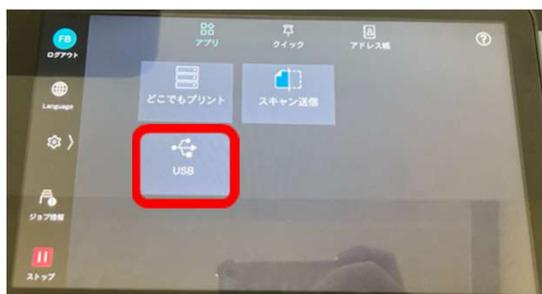
5 必要に応じて「機能リスト」をタッチし、スクロールして必要な設定を行ったあと、右下の[スタート]をタッチします。



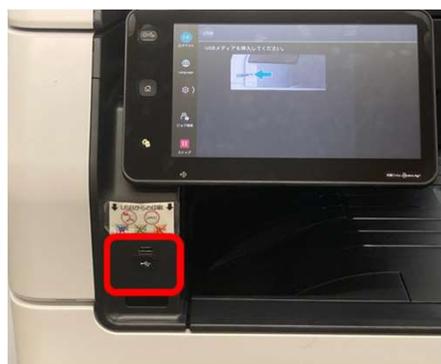
※ガラス面に原稿をセットし複数枚数原稿を連続スキャンする場合は、「次の原稿あり」をタッチし、原稿を差し替えて、「スキャン」をタッチします。最後の原稿のスキャンが終了したら、「次の原稿なし」をタッチすると、スキャンが完了します。

### USBスキャンについて

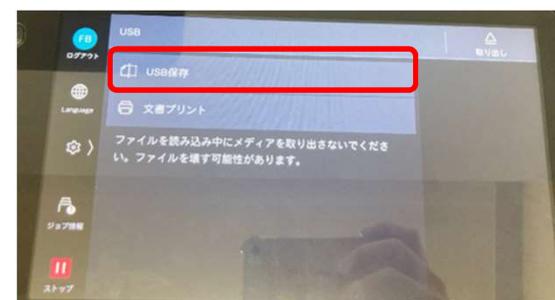
1 [USB]をタッチします。



2 [USBメディア]を挿入します。



3 [USB保存]をタッチします。



4 保存する「フォルダ」を指定します。



5 必要に応じて「機能リスト」をタッチし、必要な設定をセットし、【スタート】をタッチします。

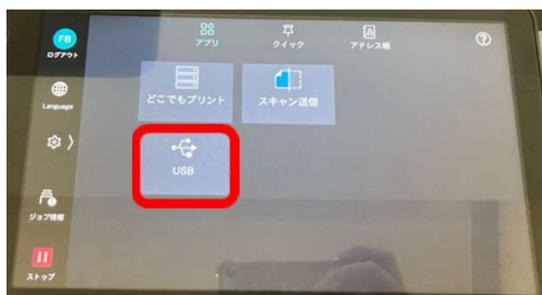


6 【取り出し】をタッチし、USBメモリーを取り出します。

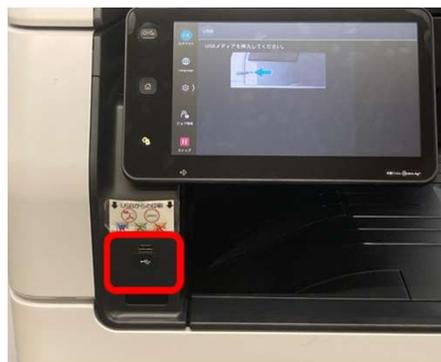


### USBプリントについて

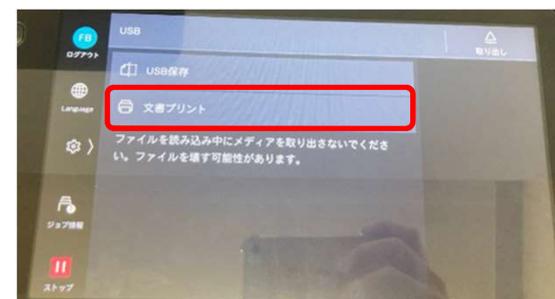
1 [USB]をタッチします。



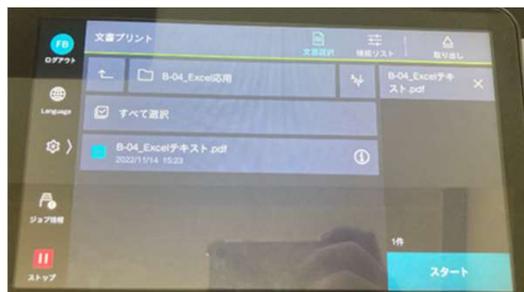
2 [USBメディア]を挿入します。



3 [文書プリント]をタッチします。



4 プリントする「文書」を指定します。



5 必要に応じて「機能リスト」をタッチし、必要な設定をセットし、【スタート】をタッチします。



6 【取り出し】をタッチし、USBメモリーを取り出します。



# USBメモリーについて

## プリント対応ファイル

- PDF ファイル (拡張子: pdf)
- TIFF ファイル (拡張子: tif、MH/MMR 圧縮、8 ビットグレースケール (非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮)、8 ビット RGB インデックスカラー (非圧縮、PackBits 圧縮)、24 ビット RGB カラー (非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮))
- XPS ファイル (拡張子: xps、oxps)
- DocuWorks 文書 (拡張子: xdw)
- DocuWorks バインダー (拡張子: xbd)
- Exif2.0 ~ Exif2.2 ファイル (拡張子: jpg、tif)
- JPEG (JFIF) ファイル (拡張子: jpg、グレースケール (8 ビット)、カラー (24 ビット、sRGB 色空間))

## 使用時の注意

- フォルダーの数が 900 個を超える USB メモリーは、正しく認識されないことがあります。
- ファイルのフルパス (すべての階層のフォルダー名とファイル名を含んだ文字列) が 257 文字を超える場合は、表示されません。
- プリントできるファイル数は 900 ファイルです。
- USB メモリーは、フォーマットしたものを使用してください。対応しているフォーマットは FAT12、FAT16、FAT32 だけです。NTFS、exFAT フォーマットには対応していません。
- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。
- USB メモリー内のファイル数や容量によっては、プリントに数分から数十分かかることがあります。
- USB メモリー内のデータは、破損するおそれがあります。必ずデータをバックアップしてから使用してください。
- お客様のデータ消失による直接、間接の損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- 複数の USB メモリーを同時に取り付けて使用することはできません。
- 次の USB メモリーは対象外です。
  - 別途ユーティリティが必要な USB メモリー
  - パーティションが複数ある USB メモリー
  - 外付けのハブを介して接続した USB メモリー
- [System Volume Information] フォルダーはコンピューター上で表示されないフォルダーです。ファイルの保存先として選択しないでください。

## コピーについて

※教職員のみ利用可能

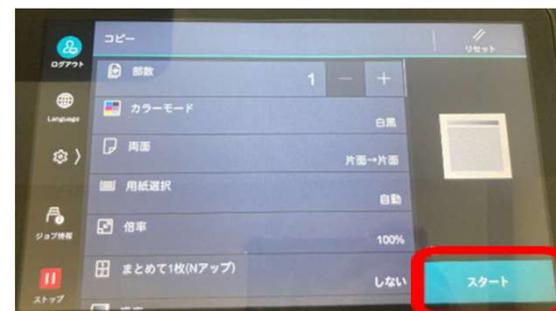
1 「コピー」をタッチします。



2 必要に応じて「機能リスト」をタッチし、必要な設定をセットします。



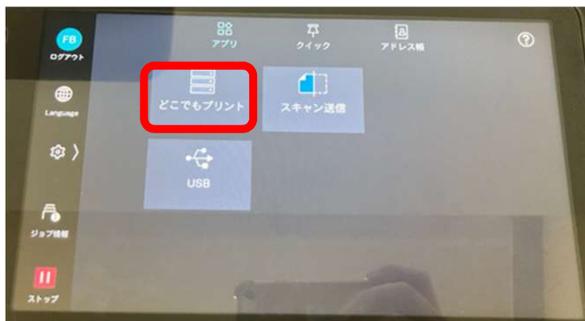
3 「スタート」をタッチします。



# 残高の確認方法

## 残高の確認について

1 [どこでもプリント]をタッチします。

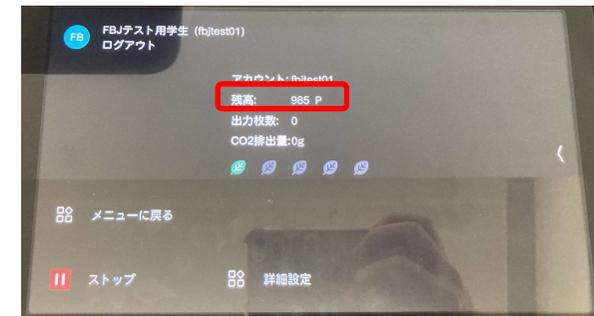


[ホーム画面]

2 [歯車]をタッチします。



3 赤枠の部分に[残高]が表示されます。



# マークシステム（教員）

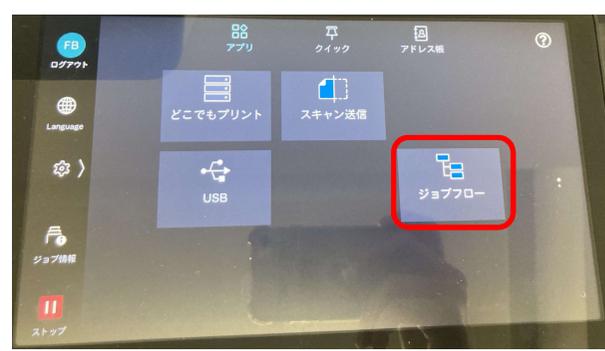
## マークシステムについて

1 複合機に原稿をセットします。

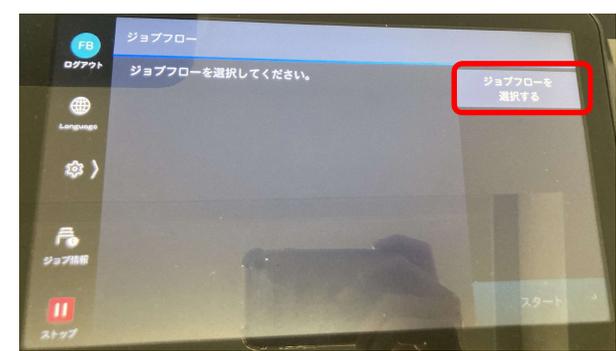


【自動原稿送り装置】  
スキャンする面を上にして  
セットします。

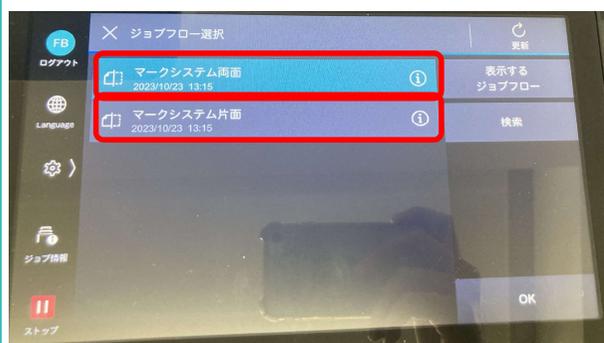
2 [ジョブフロー]をタッチします。



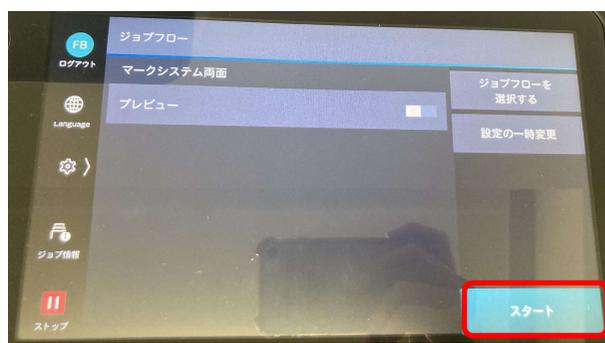
3 [ジョブフローを選択する]をタッチします。



4 [マークシステム両面(または片面)]をタッチします。



5 「スタート」をタッチして完了です。



# FUJIFILM

Value from Innovation

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。  
本ドキュメントは富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。  
Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、およびFreeFlowは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。  
本ドキュメントの画像は2021年3月以前のものであります。